

2023年度(令和5年度)

自己評価報告書

**学校法人 東北外語学園
東北外語観光専門学校**

■2023年度（令和5年度） 自己評価について

本校では、学生等が関係業界等のニーズを踏まえたより質の高い職業教育を継続的に享受していけるように、学校運営の改善を目指し学校自己評価を行いました。評価にあたっては、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に実施しております。この自己評価の結果を活用し、さらなる教育活動並びに学校運営等の質の向上に努めてまいりたいと考えています。

1. 対象期間：2023年（令和5年）4月1日 ～ 2024年（令和6年）3月31日

2. 実施方法

- (1) 実施時期：2024年5月
- (2) 実施回数：年1回
- (3) 実施体制：校長を中心に教職員で自己評価を行っております。
- (4) 評価結果の公表方法：当該報告書を本校ホームページに掲載して公表

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の10項目について実施しております。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学校の理念・目的・育成人財像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
②	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
④	学校の理念・目的・育成人財像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
⑤	各学科の教育目標、育成人財像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

■ 状況、課題、改善策について

- ① 理念・目的については、学則に記されているほか、理事長による『経営理念書』の中で詳細に述べられている。また、専門分野の特性と育成人材像については、各学科、学校紹介パンフレットにおいて各科・コースごとに明確にされている。
- ② 高度の専門性、国際感覚、社会人としての常識を備えた人材の育成を行うことをその特色としている。
- ③ 将来構想を検討するための特別委員会を設けて、専門学校をめぐる状況を確認し、将来構想を作成している。
- ④ 学校案内書、ホームページ、イベント等を通じて周知している。また在校生には「学生必携」を使い、オリエンテーションで周知できるようにしている。
- ⑤ 業界の動向に注意を向けながら、そのニーズに対応できる学科の設置、カリキュラム作成に取り組んできた。

(2) 学校運営

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
④	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
⑤	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
⑥	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑦	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
⑧	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

■ 状況、課題、改善策について

- ① 理事会で承認された事業計画をもとに毎年運営方針を策定している。事業計画及び運営方針は学校法人
- ② の全職員を対象とした会議等の機会により周知している。
- ③ 学校運営に関する組織は整備されており、必要に応じて部門間で意見交換の上、適正に判断し業務を遂行している。
- ④ 規定の整備は随時行っている。特に年休制度については「学園年休」「疾病休暇」の制度を学園独自で整備し、職員の急な休みにも対応できるようにしている。
- ⑤ 意思決定については学園の規程において定められている校務分掌、職務権限に従って行われ、有効的かつ効率的に運営されている。各部門ごとに校務分掌表を作成し、担当する業務を明確にしている。
- ⑥ 学校として法令や基準等で確認が必要な場合は、宮城県担当者に随時問い合わせ適切に対処している。また、グループ法人の顧問弁護士等に相談し、学校としての基本的なコンプライアンス体制は整備されている。
- ⑦ 各種学校行事の実施状況や各学科の教育活動については、SNSで情報公開を行っている。
- ⑧ Google ClassroomやGoogle Chat、Google MeetなどのWEBシステムを活用し、職員間及び非常勤講師との連絡や打合せを滞りなく、また効率的に行うことができている。

(3)教育活動

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
②	教育理念、育成人財や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
⑤	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
⑥	関連分野における実践的な職業教育(産学連携におけるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
⑧	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
⑨	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
⑩	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
⑪	人材育成目標の達成に向け事業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
⑫	関連分野における業界等の連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
⑬	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	③	2	1
⑭	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 教育理念を対外的に分かりやすく示し、各学科実施方針や編成に反映させている。
- ② 目標到達に必要な学習時間を十分に確保している。また、到達目標について日頃から学生たちに分かりやすく伝えている。
- ③ 職員同士や講師との間で連携して改善を行い、体系的な編成に繋げている。
- ④ 職業意識を高めることを意識し、実践的な授業を実施している。
- ⑤ 各関連分野の企業との連携や実習等を実施して、カリキュラム作成・見直し・検討に努めている。
- ⑥ 学科や分野を問わず、インターンシップを学生に勧めている。企業からの募集情報も増えてきている。
- ⑦ 学期末ごとに全科目の授業アンケートを実施している。結果は担当講師と共有し、問題解決に努めている。

- ⑧ 外部関係者の方々からいただいた意見・評価を学校運営に反映させるようにしている。
- ⑨ 判断基準は学生必携に明記している。
- ⑩ 取得目標資格と授業内容の連動がなされているか、講師と常に確認している。
- ⑪ 年々講師確保が難しくなっているため、企業や講師との連携をより細やかにしていく必要がある。
- ⑫
- ⑬ 学外の研修に、より積極的に参加したい。
- ⑭ 学外の研修に積極的に参加し、職員間での情報共有を必須として実施したい。

(4)学修成果

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	就職率の向上が図られているか	4	③	2	1
②	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
③	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 就職率は95.5%と昨年度の100%には届かなかった。大学編入不合格から就職に切り替える学生に対しての指導時間を次年度は設けたい。
- ② 資格取得に向けて講師との連携を図り、取得率が下がったものに関しては原因を探り、対策を講ずる。
- ③ 入学してすぐに登校しなくなるケースが令和5年度は多く見られた。教育内容と本人の希望のミスマッチによる不登校を今後減らしていきたい。
- ④ 卒業生、在校生問わず把握できている。卒業生との連絡を密に取ることを続けていきたい。
- ⑤ 各業界の卒業生の情報収集に努め、ホームページやSNSで紹介している。また、在校生と卒業生との対話の機会を作っている。

(5) 学生支援

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
②	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
⑦	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
⑧	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
⑩	高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	④	3	2	1

■ 状況、課題、改善策について

- ① 担任・講師・各担当職員と連携をして、いつでも相談に応じられるような体制を取っている。
- ② 担任により定期個人面談に加え、月1回スクールカウンセラーを配置して相談の場を提供している。
- ③ 引き続き、修学支援新制度や奨学金制度を継続し、経済的理由で進学を諦めさせない工夫を実施していく。
- ④ 定期健康診断を引き続き実施する。保健室の常設とスクールカウンセラーによる学生相談室開設で精神面の支援も行う。
- ⑤ 関連業界でのアルバイト、ボランティアなどの情報提供を行って支援している。
- ⑥ 女子学生に対しては、学校近くに寮を設けている。また、業者と連携をして学生会館、アパート等を紹介している。
- ⑦ 毎日の出欠状況、成績について保護者への報告を行っている。
- ⑧ 卒業後の相談は年々多くなってきているように感じる。特に、ハラスメントに関する相談が多い。
- ⑨ 既卒者を対象とした1年専科の出願希望者はここ数年いない。
- ⑩ 仕事体験や高校ガイダンスの参加により、職業教育の理解度を高めている。

(6)教育環境

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように設備されているか	4	③	2	1
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
③	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① Wi-Fi環境全館整備及び、本館5階の机と椅子の更新が望まれる。
- ② ここ数年実施していなかった海外研修について、再開する方向で進めている。令和6年2月から5月実施の短期留学には4名が参加した。
- ③ 年に2回避難訓練を今後も実施する。留学生への分かりやすい説明も必須である。

(7)学生の受入れ募集

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
③	学納金は妥当なものになっているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 毎月開催している来校型のイベントでは職員一同協力して本校の特徴、学科概要、カリキュラム等を伝え参加者に満足していただき、入学意欲を高める機会にできるよう心掛けている。特に今年は北東北(青森、秋田、岩手)に力を入れ、幅広いエリアで学校を知ってもらえるように積極的に進学相談会に参加した。進学相談会では入学後のミスマッチが生じないよう他校とも比較した上で進路を決めてもらうように説明している。
- ② 教育成果を伝える手段としては「学校紹介パンフレット」「本校ホームページ」「各種イベント」等を通じて伝えており、見やすさ、分かりやすさ、伝わりやすさを意識して制作及び伝達に取り組んでいる。パンフレットは2025年募集で新学科、新コースが入るため、入学検討者が見たい情報・読みたい順番に配慮して構成を再検討して制作している。HPやSNSでは在校生のリアルタイムの情報が発信できるよう心掛け、研修の様子など常に新鮮な情報提供ができるように取り組んだ。オープンキャンパスでは、よりリアルな情報が提供できるように学生スタッフを配置し、参加者との交流時間を設けている。今後とも教育成果を迅速に発信できるよう心掛けていきたい。
- ③ 健全な学校運営を基本とし、学納金は経済情勢の変化等も踏まえ決定している。また経済的困窮者が増加傾向にあることから、本校では定期的に学費サポート制度の説明を行うようにしている。

(8) 財務

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
③	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
④	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 学園の財務基盤は安定している。継続して、中長期的な財務基盤の安定に努めていく。
- ② 予算と収支計画は各部門で編成及び審議を行い、年度末に評議員会に諮り、理事会で決定している。また、理事会での決定事項に従い適正に実行している。
- ③ 会計監査は法令に基づき監査法人及び監事により適正に行われている。
- ④ 私立学校法により閲覧に供することが義務付けられている事業報告書及び財務情報についてはホームページで公開している。

(9) 法令等の遵守

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
②	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	④	3	2	1
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
④	自己評価を公開しているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 設置基準を遵守し運営を適正に行っている。
- ② 個人情報に関しては「個人情報への取り組み」(個人情報保護方針)を定め、適正な保護の実現を行っている。
- ③ 自己評価委員会により自己評価を行い、その後学校関係者評価まで実施している。その際に問題点について検討している。
- ④ 自己評価の結果については「学校自己評価報告書」としてホームページによる公開を行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
③	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

■ 状況、課題、改善策について

- ① 昨年度は荒町商店街との連携で七夕のイベントや、小児病棟へメッセージを送るなどの活動を行った。
- ② ボランティアを積極的に推奨している。
- ③ 県や市で実施の講座等に積極的に申し込んでいる。

(11) 国際交流

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	④	3	2	1
②	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているのか	④	3	2	1
③	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④	3	2	1
④	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④	3	2	1

■ 状況、課題、改善策について

- ① 国別受け入れ人数のバランスを図りながら受け入れる方針を今後も維持したい。国際総合ビジネス科については、今後外国人労働者に対する需要が拡大することは必至と思われるので、受け入れ数の増加を検討している。
- ② 学生受け入れにあたっては、希望者に対して、事前調査、面接、書類選考を実施して、適正な選考を行っている。出欠状況、健康状態について日常的に留意し、必要な指導を行っている。
- ③ 担任制度を取り入れて留学生が安心して学習に取り組み、生活できる体制を整えている。また、授業担当講師間でも緊密な連絡を取り合い、学習指導に工夫改善を図っている。
- ④ 本校のホームページあるいはSNS等を利用して、学校行事、地域活動等を中心に発信してきた。今後一層の充実を図っていきたい。